

あつま

議会だより

3月定例会号

No. 127

平成19年4月発行

平成 19 年度予算審議	2
委員会報告	3～5
一般質問 児童福祉など 8名が質問	6～13
特別委員会報告(自律のまちづくり)	14



軽舞さくら保育園入園式 (4月5日)

一般会計 53億9,200万円
特別会計 22億5,750万円

前年度比 2.8%減
前年度比 2.7%減

平成19年度
予算審議

平成19年度 当初予算 (第1回定例会)

一般会計は委員長裁定により

原案可決!!

平成19年第1回定例会で付託された平成19年度の各会計予算は、予算審査特別委員会（松平功委員長）を設置し、3月9日から15日までの内、5日間の日程で行われ、慎重に審議した結果、一般会計において一部修正案の提出もありましたが、一般会計、特別会計それぞれ原案可決となりました。

一般会計予算の修正案

第1号 (今村議員提出)

浜厚真野原公園サッカー場観覧席に要する470万円について、町民の利用が極めて少なく、町行財政改革の下、このNPO法人には別途運営費の補助まで行っている中で、さらに町費を投入することは疑問であることから、観覧席の費用470万円の減額を求めましたが、賛成少数により否決となりました。

第2号 (海沼議員提出)

中高生海外派遣事業の668万9,000円について、参加できない子供的心情、教育の機会均等、17年度から指適していたことなどから、問題を整理研究して、効果のある事業として再提案されることを期待して、一旦白紙撤回を求めましたが、6対6可同数のため委員長裁定により否決となりました。

一般会計予算に対する付帯決議案

一般会計予算の執行に当たって、公平性、効率性、費用対効果などはもとより、総合的な見地から検討を行い、町民にとって有効な施策となるような予算執行を求め、野原公園サッカー場については、町民の利用促進と、観覧席の設置は、補助金の確保を図った上での実施と、中高生海外派遣については、予算委員会での多くの意見を踏まえるとともに、今までの検証と検討を求める決議案が提出され、賛成多数により可決されました。

特別会計

全会一致に

より原案可決

国民健康保険事業
老人保健
介護保険事業
簡易水道事業
公共下水道事業

厚幌ダム関連事業調査特別委員会

委員会は去る1月23日、事務調査を行い、その結果を第1回定例会に報告した。事務調査3件より抜粋。

遅れる厚幌ダムの建設

質疑概要

- Q** 19年度の予算があまりにも激減したが、今後はどうなるのか。
- A** 北海道のダム事業の考え方は、現在建設中の当別ダムなどに重点配分され、厚幌ダムは、準備ダムと位置付けされている。
- Q** 早くできないとほ場整備が終わっても、安心して水田がつかれない。どのくらい遅れるのか。
- A** 予測として遅れると思うが、国・道も頑張っている。1年でも早く完成させたい。
- Q** 残地は、道の買収価格と同額で町が買い入れるのか。
- A** 算定方法は、違う。一律14万円で買い取りしたい。
- Q** 道が、この土地を

- 収しなかった理由は何か。
- A** 想定した洪水水位より2m上を規準として用地買収をしたためである。
- Q** 実勢価格との差はないのか。
- A** 当初に約束した価格の7割としたが差はある。

残地補償で対策はすべて終了

厚幌ダム建設にかかわる用地買収で、北海道が買収することができなかった土地を残地という。この土地の購入費1、800万円は、第1回定例会に補正予算として提案され可決されました。

厚幌ダム建設事業の進捗状況

(単位：千円)

	総事業費	17年度まで	18年度	進捗率	19年度	20年度以降
本工事費	9,672,276	0	0		0	9,672,276
ダム費	8,477,516	0	0		0	8,477,516
管理用設備費	1,194,760	0	0		0	1,194,760
測量及び試験費	9,919,211	4,447,552	258,146		160,153	5,053,360
用地費及び補償費	13,436,793	5,273,025	1,019,281		91,117	7,053,370
用地費	2,755,199	2,022,451	496,510		1,117	235,121
補償工事費	10,681,594	3,250,574	522,771		90,000	6,818,249
工事諸費・事務費	971,720	621,611	21,121		21,121	307,867
合計	34,000,000	10,342,188	1,298,548	34.2%	272,391	22,086,873

委員会報告

総務文教常任委員会

委員会は去る1月25日、事務調査、現地調査を行い、その結果を第1回定例会に報告した。事務調査6件、現地調査1件より抜粋。

入札等の改善

質疑概要

Q 一般競争入札を導入すれば、工事の品質低下を含め、相当混乱すると考えているのか。

A 一般競争入札の場合、最低価格というものを町で設けるが、ある程度の工事の質は保持されると思う。地場企業の育成ということもあり、一般競争入札をすると混乱が起きると思う。

Q 予定価格に対する落札率、設計金額に対する落札率が非常に高い数字であるが、現状では仕方ないのか。

A 設計金額に対する落札率は、委託業務でかなり下がることはあるが、工事では95%くらいが良いと考えている。

Q 例えば平均落札率が95%というのは、5%は

会社の経営努力と見た方がいいのか。

A 経営努力は一般的に15%前後で、5%から10%が落札の範囲であると、通常言われている。

Q 行財政改革と言って、鉛筆1本、コピー用紙1枚まで切り詰めて節約するよりは、予定価格を下げて経費を削減する方が効果があり、財源確保につながるのではないか。

A 平成17年に入札制度を改善し、設計金額に対する落札率は、ある程度下がっている現状である。やみくもに予定価格を下げるというのではなく、設計金額を尊重しなければならぬ。

旧かしわ保育園の利用状況

質疑概要

Q 旧かしわ保育園の再利用という目的は十分に達していると思うが、埋蔵文化財発掘調査の出土品の整理をしている方々の休憩所がないのはなぜか。

A 遺跡の整理に必要な

経費は委託先に理解していただき、プレハブ等の増築も可能か今後も考えていきたい。

Q かしわ保育園の看板を外して、目的に沿った看板を立てた方がよいのではないか。

A 道の許可が正式に出た時点で外す予定である。



遺跡調査整理事務所として利用されている旧かしわ保育園

産業建設常任委員会

委員会は去る1月30日、事務調査、現地調査を行い、その結果を第1回定例会に報告した。事務調査4件、現地調査2件より抜粋。

本郷の 沢川の人道橋



本郷団地内の人道橋の現地調査

質疑概要

Q 川の両側に住宅地が密集し行き来を考えたら車を通れる道路が必要と思われるが。

A 基本的には人の通る橋である。乗用車が通るようになり段差解消などの補修をしてきた。自治会からもっと広い橋をとの要請はあるが、当面はこのまままでと考えている。

各公園の 維持管理費

質疑概要

Q 公園の面積に応じて交付税が算定されるが、いくらなのか。

A 18年度の予定は総額で、3,089万円である。

Q 20ある公園のうち都市公園は16ヶ所であるが、その廃止、縮少はできないのか。

A 一旦設置すると都市公園法の関係で廃止するのは難しい状況にあるが、土地利用上支障が出た場合、一部都市公園から外し、少なくなった面積を別なところで確保する方法をとっている。

Q 18年度は、百年記念公園にいくらお金をかけたのか。

A 全体で約164万円であるが、昨年の大雨で水車小屋が傷み補修に60万円掛かった。

本郷第2団地公営住宅の建設状況



完成した本郷第2団地公営住宅1号棟

質疑概要

Q この公営住宅のデザインは上厚真かえで団地とほとんど同じであると、思うが、同じ設計業者なのか。

A そうである。ある程度統一した形をとっている。

Q オール電化住宅であるが、暖房のトラブルは考えられないのか。

A 暖房機の設定については、入居時に入居者が立会して確認するので、トラブルはないと思う。暖房が入る時間帯は、深夜8時間で通称ドリーム8と言っているが、電気料も安く入居者は快適な生活ができると思う。

町政を問う！！

一般質問

3月定例会の一般質問を要約してお知らせします。

詳しく知りたい方は、議会事務局、インターネット上または青少年センター図書室で会議録を閲覧できます。

公共施設の管理・総合計画

Q

こぶしの湯の指定管理者制度への移行は

A

今後検討する

指定管理者制度とPFI事業

問 昨年3月に指定管理者制度になってから、その施設のサービスに変化はあったのか。

町長 委託先は従前と同じ団体に任せているので、サービスの变化は無い。

問 「こぶしの湯あつま」の経営形態について、指定管理者制度への移行はあり得るのか。

町長 今は、町直営方式で一部委託の形でやっている。問題解決のため、現在役場職員による運営改革プロジェクトチームもあるが、今後指定管理者制度による検討もする。

問 今後建設が予測される施設についてPFI事業での取り組みは、考え

られないか。

町長 もし役場庁舎の建て替えがあるときには、PFI事業について考えてみる必要がある。

※PFI事業 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。

Q

前期総合計画のやり残し事業の対応は

A

取捨選択し実施する

厚真町第3次総合計画

問 19年度予算にどのように反映されたか。

町長 19年度実施計画分はすべて網羅した。

問 前期の総合計画でのやり残し事業の対応をどう行っていくのか。

町長 時代の変化、財政状況、町民ニーズの変化により17年まで実施していないものがある。しかし、今後取捨選択し、この計画が終わる27年までに実施する。

問 計画に変更があるときは、町民に示すべきでないか。

町長 信頼される行政のために重要なことで、計画を大事にしてやっていく。



海沼 議員

まちづくり・農業振興

現在まで、厚幌ダムや河川改修を進めるとともに、生活、福祉、教育の面においても積極的に基盤整備に対する投資を行ってきた。

あらゆる社会・経済環境の変化の中で、積極的に的確な判断を加えながら、町民の幸せと町の発

展を願う政策課題に取り組んでいく。

公約の達成については、前計画の中で、実行できないものが多少はあるが、18年度からスタートした27年度までの計画の中で、時代の変化を見据えしっかりと実行していきたい。

質の高いまちづくり

問 質の高いまちづくり政策を具体的にどのような進め、住民と地域がこれまで以上に連携をして、施策の実効性を高め、協働のまちづくりをどのように町民の理解と協力を得、積極的に推し進めていく考えなのか。

町長 町民の皆さんが安心して生活できるあらゆる環境づくりが有機的に結合し、バランスよく確

保・提供され、将来にわたって向上と発展を繰り返すことが質の高いまちづくりにつながるものとして確信している。

今後も町民生活のさらなる安定確保を進め、本町発展のための必要な各種の基盤を整備するとともに、あわせて充実したサービス提供について、町民の皆さんの理解を得ながら、ともに汗を流して進めていく。

問 町長の考えている協働のまちづくりの理念は何か。

町長 町民と行政が心一つになり、まちづくりをすることである。協働のまちづくりは、自治会が中心となって、まちづくりの現状はどうなのか、どう進めていくか、情報

を提供して一緒になってまちづくりを実行していくと考えている。

農業者が働く喜びとは

問 「働く喜びと豊かさをつくる農業を基本に、豊かさが実感できる農業の構築を目指す」が町長の施政方針である。

重点的に取り組むと述べている品目横断的経営安定対策で、元気の出せる農業を目指すことができるのか。また、農家の所得向上のためどのように指導していくのか。

町長 生産するための基盤は、町でしっかりと国・北海道の事業にも乗ってやっていく。

また、今年3月までに、町内の農業関係機関が一体となって、担い手育成総合支援協議会をつくり、担い手、農業者をサポートしていく考えであり、今後農協と協議しながら具体的に実施していく。農業者の皆さんは喜びを持って生産活動に取り組

んでほしい。

小作料の適正化

問 今年は小作料の改正の年と聞いているが、大農家と小農家の皆さんの適正設定を求める声が高い。今日までの小作料協議会の適正な議論を含め、どのような見通しになっているのか。

農業委員会会長 戦後農政最大の改革と言われる品目横断的経営安定対策が昨年9月1日からスタートしたが、農業委員会としては、2月2日に小作料協議会を設置した。その中でいろいろと貸し手、借り手の方々の意見を聞いて、現在精査している最中である。今後、3月16日、第2回の協議会を開催し、適正な標準小作料を設定したいと考えている。

Q

今後の町政執行の決意は

A

町民の幸せのため政策課題に取り組み

町政執行の決意

問 町長の任期に残された1年数ヶ月を、総仕上げに向けてどのような決意で町政執行に当たるのか。また、町長の公約は今までの程度達成しているのか。

町長 苫小牧東部地域などの発展の可能性を期待するとともに、今後とも積極的に本町の発展に努めていきたい。



森田 議員

投票区域の再編成・少子化対策

Q

投票所数の減は投票率低下につながるのでは

A

期日前投票の普及を図る

投票区域の再編成

問 国民の大切な投票する権利の行使をしにくくする投票所の減（9投票区を4投票区）は今後さらに検討する必要がある。なぜ選挙管理委員会有権者が不便になることを提案したのか。

選管書記長 投票区の有権者数、期日前投票の実態、交通の利便性、投票事務の合理化、立会人の選任等から判断した。関係自治会の承認も得ている。安定的な投票区の維持を考えている。

問 福祉センター、厚南会館投票所の二極集中を危惧する。投票しやすくするために本郷地区、ルーラル地区の新投票所を提案する。投票する人

のことを考えるのが選管の役割なのでは。

選管書記長 人的手当をしなければならぬ。職員数が減っていくなかで難しい。有権者に聞いて決定していくが、新しい投票区での実施が必要であると思う。

問 お年寄りを中心とした人たちが徒歩、自転車で行く投票所に行くと投票率は下がることが懸念されるが、どう分析しているのか。

選管書記長 投票率が下がるといふ考えは持っていない。投票区が再編されても、それぞれ既存の手段を使って投票所に行つてほしい。徒歩や自転車利用の人数は把握して



古川 議員

いない。

問 新たな投票所に行くことになる有権者が投票しやすくする手段は。

選管書記長 福祉バス利用、期日前投票等、さらに高齢者、弱者対策も考えていきたい。

問 投票区の再編は国の地方切り捨てと同じように、行政の地方切り捨て



北海道知事・道議会議員選挙開票風景(4月8日福祉センター)

Q

妊産婦定期健診に対する助成の考えは

A

国からの財源措置などの通知もあるので検討する

少子化対策

問 子どもを生み育てる

のように感じる。この件は多少お金が掛かっても、ここは守らなければならぬ部分であると思われるが。

町長 選管としても投票率が下がるのでは、国民の大事な権利の履行がでないのではないかと、古川議員の心配も含めて話題にすると、言っている。正直、話を聞いていて良かったと思つて

十分な環境を整えること、さらに母親に優しい社会のため、妊産婦定期健診に対する助成は。

町長 妊産婦健診に際して必要な費用は概ね5万円から7万円程度で経済的負担になる人もいる。近く厚生労働省から財源措置などの通知もあるので検討する。

問 保育ママ制度（在宅家庭的保育事業）導入の可能性は。

町長 すでに取り組んでいる自治体の保育ママの資格や養成講座の実施などを考えると極めて厳しいものがある。

当町では若いお母さんの子育てをお手伝いすることができるようなボランティアグループの育成に努めていく。

問 子育てクーポン券事業、ママさんカード教育サポート券への助成は。

町長 極めて厳しい財政状況の中、町単独事業に取り組むことは困難である。

一般質問

財政の見通し・サッカー場

Q

今後の財政運営の見通しは

A

資金計画の検証の結果必要な一般財源は確保できる

今後の財政の見通し

問 財政調整基金をここ2〜3年続けて取り崩しているが、町の税収も年々減少していく傾向にあり、現在のような予算の組み方でいくと財政調整基金はあと何年持つのか。

町長 財政調整基金の取り崩し額は、平成18年度1億2,000万円、19年度1億2,000万円を予定しており、19年度末残高は9億8,900万円となる見込みである。これまでと同様に行財政のスリム化を徹底した上でなお、これからの4年間に4億円程の取り崩しが必要であると見込んでいる。また、そのころには公債費負担のピーク

が過ぎ、以後当分の間、財政調整基金に依存することなく財政運営を行える見込んでいる。

問 町の税収の今後の見通しは。

町長 平成19年度は、固定資産税で16億6,800万円など合計19億8,500万円と見積もっている。

町税収入がピークの平成15年度決算は27億3,800万円であったが、今後も減価償却による減収が続くものと予測しており、平成27年度には合計で約14億5,000万円と平成15年度のピーク時に比べ53%程度に減少する見通しである。

問 現在の状態で健全な予算はあと何年ぐらい見通せるか。



木村 議員

町長 義務的経費の削減効果が財政収支推計の削減目標額を上回る見通しとなった。

新総合計画の資金計画の検証を行ったが、平成

18年度から平成27年度までの10年間で必要とする一般財源総額368億円は十分に確保できる見通しとなった。

なお、当該実施計画は、現時点で想定している全事業と改革プログラムを網羅しているので、一般会計の範囲内における同期間の収支は、良好であると言える。

Q 野原公園サッカー場に対する補助の考えは

A 今年度観覧席を設ける

浜厚真野原公園
サッカー場

問 町費は一切使いませんといいことで進めた野原公園サッカー場の建設に使った町費はいくらか。

町長 平成16年度に北海道の補助金を活用して実施した張り芝や防球ネットなどの追加工事に町費約2,100万円と北海

道の補助金約1,800万円、合計3,900万円である。

問 野原サッカー場が今まで町にもたらした経済効果やメリットはどの程度あるか。

町長 平成17年及び18年の来場者は、ともに観客も含めて述べ約2万5,000人となっており、入り込み客の増加に伴う

周辺売店やその他町内商店などの売上げ増加等、具体的な数字で確認できないが、経済的波及効果があったことは把握している。

問 野原サッカー場の町内の人たちの利用状況はどうか。

企画調整部長 野原サッカー場で開催の大会やサッカー教室に参加しているほか、練習での使用は2年間でFCアドゥーマが2回、ほかのチームが2回の計4回使用した。

問 今後の補助金の交付についてはどう考えているのか。

町長 Y A G E Nフットボールクラブの運営費のうち、直接サッカー場の維持管理に要する費用の一部として、クラブの財政運営が安定するまでの間とする考えで200万円を補助している。その他に今年度は470万円を補助している。観覧席をつくる予定である。

Q 小規模農家への支援策は

A 農協と連携し地域協働システムを構築していく

農業振興

問 品目横断的経営安定対策では、小規模農家が助成対象外になる。厚真の農産物で商品化されているトマトジュースやおふくろ味噌がある町として小規模農家への支援策をどう考えているのか。

町長 国の不足分について町が支援するという時代ではない。シソジュース、トマトジュースなど農畜産物を加工して販売していく団体に支援していきたい。

農業振興課長 関係機関と連携しながら、とまこまい広域農協全体として地域協働システムというものを構築しようと考えている。

農地の流動化・兼業化

集約的農業経営など経営を移行させていきたい。

水田を生かした中で産地づくり交付金を十分生かしつつ、野菜・園芸振興、場合によっては肉牛を振興して経営を移行させていきたい。水田でいきたいという人もいるので、1〜2年で営農できるような体制にしていきたい。

問 地域協働システムをいつころ立ち上げるのか。また、行政の役割は何か。

農業振興課長 農協で農業振興計画パート3、19年〜21年の3カ年の事業計画を作っている。この計画が決定すると地域協働システムが動き始める。行政としては担い手の育成総合支援協議会が今年3月に発足するので、連携をとっていきたい。

連携をとっていきたい。



米田 議員

農地の流動化と機械の共同利用促進が行政の役割である。

問 第3次総合計画の中でも北のクリーン農産物表示制度やエコフアーマー、また、12月の国会で成立した有機農業推進法などを利用した取り組みはできないか。商品の価値を高めることはできないか。

農業振興課長 厚真町の農産物生産のスローガンになっているので、どんどん進めていきたい。

町内でイエスクリーン表示は、カボチャだけが対象になっている。エコフアーマーは農家一戸が取り組んでいる。

北海道、全国に認められた表示で出荷できるように施肥改善、農薬の減

量など、登録が取れるように取り組んでいきたい。

Q 医療改革に伴う特定健診・保健指導の内容は

A メタボリックシンドロームの予防が中心になる

福祉政策

問 国の医療改善に伴って基本健診から特定健康診査や特定保健指導事業にどう変わっていくのか。

保健福祉課長 19年度に国の健診、保健指導プログラムに基づく特定健診等実施計画を策定する。

メタボリックシンドロームの予防、改善が保

健指導の中心になり、積極的な支援をする人、動機づけをする人、情報提供をする人に分けて、必要に応じた保健指導をしていく。

問 特定健診の受診率や保健指導による改善率が悪い保険者には高齢者医療に支出する支援金の加算というペナルティーがある。加入者が健診を受けない保険、肥満の加入者が多い保険、加入者の喫煙が減らない保険などは、保険料が値上げされるが、どのような施策をしていくのか。

保健福祉課長 町内の40代50代は、55%がメタボリックシンドロームになっているという数字がある。

改善していくためには、生活習慣を直していかなければならぬので、19年度、プログラムをもとに厚真町に適した計画を作成し、特定健診なり、特定保健指導の手法について考えていきたい。

一般質問

米軍機の移転問題・北電のデータ改ざん・苫東新計画

Q 騒音測定器の設置を要求しては

A 札幌防衛施設局に提案していく



沢口 議員

米軍機の千歳空港移転問題

問 米軍機の千歳空港移転問題について国から何かしらの説明はあったか

町長 7月28日に説明のために札幌防衛施設局施設部長が来庁し、その後2回の説明があった。

航空直下である千歳市や苫小牧市等が中心に移転協議の調整が進められていることと、周辺自治体には移転の影響についての調整協議を行う話はなかった。

問 厚真町内に騒音測定器の設置を要求してはどうか。

町長 「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」もあるが、札幌防衛施設局にしっかりと提案していきたい。

Q 北電のデータ改ざんの内容は

A 発電機出力データの超過を定格と改ざん

北電の環境測定データの改ざん問題

問 北海道電力は、複数の火力発電所で環境測定データなどの一部に改ざんを行ったことを公表したが、苫東厚真発電所での改ざんの内容はどのようなものだったのか。

町長 電気事業法に基づき保安日誌に記録している発電機出力データについて、超過しているものが定格出力となっているような内容であった。

Q 苫東新計画とのかかわりは

A 苫小牧厚真通の整備などを要望している

苫東新計画

問 国土交通省北海道局が進めている苫小牧東部開発新計画にどのようにかかわっていくようとしているのか。

町長 厚真町としては、次の事項について意見を出している。

①都市計画道路路苫小牧厚真通の整備、②JR日高線移設など、地元市町のまちづくり計画との調和に十分配慮して進めるよう要望している。

町民のこえを募集

厚真町議会では、議事を傍聴した感想や「あつま議会だより」を読んだ感想、厚真町議会へのご意見を募集します。

投書について

投書される方は、用紙に300字程度にまとめ、自分の名前と電話番号も書いてください。「あつま議会だより」への掲載は、匿名を原則とします。

投書されたご意見・ご要望については、「議会だより」にて、その処理の結果についてお知らせいたします。なお、名前等の記入がない投書については、取り扱わないこともありますので、ご注意ください。

Q 認定子ども園をモデル事業としては

A 尚早と考えているが、状況を調査した上で検討したい



井上 議員

児童福祉

問 「認定子ども園」は、就学前の子どもに対する教育と保育並びに保護者を総合的に支援する制度である。町長は全国的に認定している自治体が少ないから成熟した段階で検討すると言われているが、全国に先駆けてモデル事業としてできないものか。

町長 厚真町は幼稚園的な要素を兼ね備えた保育所施設として運営しており、幼保一元化のメリッ



厚真地区の学童保育が行われている児童会館

トが理解できないでいる。私はまだ尚早と考えているが、成熟の度合いをみて状況を調査した上で検討していきたい。

問 児童会館における学童保育を小学6年生まで延長して、働く母親の支援をしていくべきではないか。

町長 厚真町は健全育成事業として学童保育を行っている。高学年と低学年では体力に差があるので、遊び方にも差があると思う。

5年生以上になると、

スポーツ少年団に加入したり、塾などに通う子供が多くなることを考えると、現状の4年生までが適当な年齢であると思う。

しかし、5年生以上でも親の事情で一時的に学童保育が必要な場合は、柔軟に対応している。

Q 職員の再任用制度を早期導入すべき

A できるだけ早い時期に条例提案したい

再任用制度

問 高年齢者等の雇用の安定等に関する法律が昨年一部改正されたが、再任用制度の条例案がまだに上程されていないのはなぜか。

た能力・経験を有効的に発揮できるように、この制度を早期に導入するべきと思うが。

継続雇用制度は公的年金が段階的に65歳まで引き上げられることに対応した制度であり、退職後の生活に不安を感じることなく職務に専念できるよう雇用と年金の連携が必要である。

町長 この再任用制度は、平成13年12月の定例会において否決されたが、現在では任意規定から義務規定へと状況が変わってきている。

町民の一人としてサードピス向上に努め長年培っ

道内の180市町村の中で154市町村がすでに再任用制度を導入している。責任者としてできるだけ早い時期に再任用制度に関する条例化について提案をしたい。

児童福祉



山田 議員

Q 保育料の軽減はできないか

A 子育てという観点から総合的に検討する

保育料

問 保育料について、今までに多くの質問がありながら、一向に変わらないうのはなぜなのか。

小中学校は義務、高校も94%以上の進学があり、就学前の子供についてもほとんど、保育所、幼稚園に通っている。現在保育料で高額を払っている額はいくくらいか。

保健福祉課長 0歳児で最高6万円強である。

問 この額は大学の授業料であり、大学生であればアルバイトもある。所得割とは言え収入の少ない年代の親にとって、あまりに重い負担と思う。

行政に対して、物申すことに控えぬ年代の人たちの思いを受け止めていないのではないか。

町長 「現状では考えられない」とか「困難である」という言葉で子育てについて答えて来た経緯があるが、今回の多くの質問から非常に大事であ

るといふ認識をさらに強くした思いである。

今、保育料をどうするという答えは出せないが、子育てという観点から総合的にメリハリをつけた方向を考えたいという思いを強くした。



厚真町唯一の常設保育所である京町保育園

幼保一元化

問 幼保一元化についてであるが、北見地方は既に十数年前から取り組んでおり近年東川町の幼保一元化特区などがあり、現在文部科学省、厚生労働省の両省で認定こども園なる制度を設けた。全

道ではまだ例がなく当町では制度が熟してからとされているが。

町長 行政の効果として保育所に入っている子供たち、将来を担う子供たちの指導というものが維持され、むしろ、向上させたいという気持ちが根底にあり、幼保一元化というものがなかなか理解できないという話を先ほど答弁（井上議員に）した。制度が熟してとは、私の気持ちも熟してからということにもなる。

問 町長は日ごろ、うちの町の保育所は素晴らしい保育をしている、もちろん幼稚園的なこともしていると言っているが、幼稚園教諭の資格者は何人いるのか。

保健福祉課長 現在産休を含めて8人の保育士のうち5人である。

問 町長の言っていることは理解できる。このことが預ける親の方にどのように伝わっているのか。

町長 幼稚園教諭の資格

者が5人いることはうれしく思う。今後勉強していく。

子育て基金を提案

問 国の施策で末端の市町村の相応の持ち出しにより市町村の取り組める事業がいくつかあるが、町村の持ち出しについては、多くの場合特別に交付税なる手当てがあるので、実質的に総事業費の数パーセント以内と言われる。

町の持ち出し分はポンプの呼び水みたいなもので、役割を果たした後に受益者から返してもらうこととし、寄付金など了解を得て子育て基金なるものを設けてはと提案する。町長の感想をいたしたいが。

町長 担当者とも話をした。職員も考えてみてほしいのではないかとこのことで、感想というよりも、積極的に検討していく。

自律のまちづくり調査特別委員会

平成16年第3回定例会において設置された当委員会は、平成18年12月13日をもって調査を終了し、第1回定例会に報告しました。

第3回中間報告後の調査・検討内容

議会改革

■道外所管事務調査等についての検討

常任委員会の道外所管事務調査、町村議会議員特別セミナー及び全国町村議会広報研修会への派遣については、第4回の本委員会で来期も従来どおり継続すべきとの結論が出ていたが、平成19年度についてはいずれも実施しないこととし、平成20年度以降については改めて協議することとした。

■地方自治法の一部改正により委員会条例などを一部改正

①議会委員会条例の一部改正

・各常任委員会の定数については、複数の常任委員会への就任が可能となったが、当面は従来どおり1人1常任委員会とし、定数はそれぞれ6人とした。

・各委員の選任と退任について、休会中は議長ができることとなった。

②議会会議規則の一部改正

・常任委員会の議案提出権が認められることとなった。

・議員の議案等の提出要件を緩和することとした。

※委員会条例・会議規則の一部改正については、第1回定例会に提案し、原案可決されました。

みんなの町政です

議会を傍聴してみませんか

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議の場です。あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎改選後の初議会は5月8日、また、次の定例会は6月下旬の予定です。

◎日程など議会の傍聴に関するお問い合わせは

☎ 27-2321 (内線 452) 議会事務局までお気軽にどうぞ



議会のうごき

1 月

30日・産業建設常任委員会
31日・議会運営委員会

2 月

28日・議会運営委員会

3 月

6～15日・平成19年第1回定例議会
6日・議会運営委員会
15日・議会運営委員会
・議会広報特別委員会

4 月

26日・新任議員説明会

あとがき



この「議会だより」が発行されるころには、新しい議員が選出され、5月には新しい議会構成も決まることと思います。

広報委員はこの4年間、限られた紙面の中の構成に頭を悩ませ

ながらの編集でしたが、4年間議会だよりを読んでいた方がありがとうございました。

読者の皆さまには、たくさんのお声や要望があったのでは…と推測いたしますが、より良い議会だよりの発行になるよう新しい広報委員に期待いたします。
広報委員一同